



2026年1月19日

各 位

会 社 名 グリーンモンスター株式会社

代表者名 代表取締役 小川 亮

(コード番号 157A 東証グロース市場)

問合せ先 管理部 執行役員 江幡 信隆

(TEL. 03-6304-7647)

ブロックチェーン・インフラストラクチャー事業計画 および執行役員人事に関するお知らせ

グリーンモンスター株式会社（以下「当社」）は、2026年1月19日の取締役会において、中長期的な成長戦略の一環として、新たにブロックチェーン・インフラストラクチャー事業（以下「本事業」）の立ち上げおよび執行役員人事について決議しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

— 金融教育事業の進化と、中長期成長を支える新たな基盤構築 —

1. ブロックチェーン・インフラストラクチャー事業計画

(1) 本事業検討の背景および戦略的意義

当社は創業以来、「おかねに対する意識と行動を変える」というミッションのもと、金融教育サービスを中核事業として展開してまいりました。

近年、デジタル資産、暗号資産およびブロックチェーン技術は、投資対象としての側面にとどまらず、金融インフラや社会経済システムの基盤として、その重要性を一層高めつつあります。特に、法定通貨をトークン化したステーブルコインをはじめとして、将来的には債券や株式にとどまらず、さまざまな実物資産（Real World Assets : RWA）がデジタル資産として発行・流通する社会への移行が見込まれております。

また、暗号資産および関連技術を巡る制度面においても、金融商品取引法の枠組みの中での位置付けや規制の在り方について、関係当局による検討が進められております。

こうした環境変化を踏まえ、当社は、金融教育サービスにおけるデジタル資産・暗号資産に関する理解促進を進化させると同時に、ユーザーの皆様がブロックチェーン技術およびその利用環境に慣れ親しむことが、今後の金融リテラシー形成において極めて重要であると考えております。

そのため当社は、教育コンテンツの提供にとどまらず、その基盤となるインフラ領域において自ら事業者として関与し、実運用を通じた知見を獲得することが、中長期的な企業価値向上に資すると判断いたしました。本事業は、当社のミッションに基づく、将来的な金融環境の変化を見据えた中長期的な成長を目的とする戦略的取り組みです。

このような検討を進める中、当社は、新たな主要株主を通じて紹介を受けたアドバイザリーとの間で、事業の中長期的な成長可能性について意見聴取し、事業戦略に関する外部の知見や、成長に向けた支援の在り方（人材・ネットワーク等）について有益な情報提供を受けました。

当社はこれらの意見および外部環境の変化を参考にしつつも、あくまで当社のミッションおよび中長期的な経営戦略に基づき、本事業の検討を開始することといたしました。

(2) ブロックチェーン・インフラストラクチャー事業の概要

本事業では、プルーフ・オブ・ステイク(proof-of-stake) 型の 主要なパブリック・ブロックチェーンにおいて、バリデーターノードの運営を中心とするインフラストラクチャー・サービスを行う方針です。

バリデーターノードは、取引の検証および合意形成を担う、ネットワークの安全性と安定稼働に不可欠な基盤です。当社は、その運営を通じて、ステーキング報酬等の継続的な収益機会の獲得と、実務に基づく運用ノウハウの蓄積を目指します。

また、本事業は、日本国内のみならず、世界各地におけるステーブルコインや RWA の発行・流通・決済を可能とするブロックチェーン基盤の運営と高度化に寄与します。

当社は、期待収益率、技術要件、当社の事業戦略および運営体制との親和性を含むエコシステムとの適合性、ならびに中長期的な成長可能性等を総合的に勘案した上で、ブロックチェーン・インフラストラクチャー事業に関する意思決定を行ってまいります。

なお、本事業の実施にあたっては、関係法令および規制動向を踏まえ、必要に応じて適切な対応を行ってまいります。

(3) デジタル資産の保有方針

本事業の運営にあたって、当社は、運営インフラの性能および効率性の向上に資する範囲のデジタル資産を保有する方針です。主要なプルーフ・オブ・ステイク型ブロックチェーンにおいては、より多くのトークンをステークしているノードが優先的に選定され、報酬水準が高まる仕組みとなっています。

これらのデジタル資産は、将来的なステーブルコインおよび RWA（現実資産）の流通を支えるインフラ運営に不可欠な構成要素として位置付けられます。当社は、バリデータ運営に伴う価格変動リスクおよび収益について一体的に管理・評価するとともに、適切な内部統制およびリスク管理体制のもとで本事業を運営してまいります。

(4) 既存事業との関係性および成長戦略上の位置付け

当社は、本事業を単なる新たな収益事業ではなく、金融教育事業とそれぞれが独立した価値を有しつつ、両者を掛け合わせることで相乗的な価値創出を図る戦略的基盤として位置付けています。

インフラ運営を通じて得られる実践的な知見は、デジタル資産、ステーブルコイン、RWA 等を含む金融教育コンテンツの高度化・差別化に寄与するとともに、ユーザーがブロックチェーンを実社会の金融インフラとして理解するための土台形成につながるものと考えております。

さらに、上場企業としての信頼性を背景に、将来的な法人向けサービスや新規事業展開への発展可能性も視野に入れております。当社は、本事業を通じて、日本におけるブロックチェーン・インフラ領域のトップランナーとなることを中長期的な目標としています。

(5) 今後の見通し

当社は、本事業について引き続き慎重な調査・検討および専門家との議論を重ね、段階的に判断を行ってまいります。具体的な進捗や事業化の判断、業績への影響等について重要な事項が生じた場合には、速やかに開示いたします。

今後は、本事業を含む成長戦略全体を整理した中長期経営計画についても、適切なタイミングで公表する予定です。引き続き、健全なガバナンスと透明性の高い情報開示を重視し、企業価値の向上に取り組んでまいります。

なお、本リリースに記載されている将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報および当社の判断に基づくものであり、実際の結果は様々な要因により異なる可能性があります。

2. 執行役員人事

当社は、ブロックチェーン・インフラストラクチャー事業の立ち上げおよび推進を担う執行役員として、William Wang 氏(Managing Director, SUMO Ventures Management LLC. (米国)) を選任いたしました。

同氏は、上場企業およびグローバルな投資・デジタルアセット分野において、事業開発、組織構築、ならびに新規事業の立ち上げ・推進に関する豊富な実務経験を有しております。

当社は本事業を中長期的な成長戦略の一環として位置付けており、同氏の知見および実行経験が、本事業の検討・構築・運営において有効に活用されるものと考えております。

William Wang	執行役員 ブロックチェーン・インフラストラクチャー事業
--------------	--------------------------------

以上